

ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

2010年6月号
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



千葉県政を市民の手に・

検証!
森田県政
～こぼれよいか千葉県～
ふじしろ政夫

森田県政になって一年以上がたちました。県民とのタウンミーティングもほとんどなくなり、「県民参加」の仕組みがなくなりつつある中で、「総合計画」が「教育振興基本計画」がつけられています。森田県政を検証しようという企画がありました。吉川ひろし(無所属)・湯浅和子(民主党)・小宮清子(社民党)の3県議と市民との間でのディスカッション……県政の現状が見えてきました。

<ハッ場ダム>

やらない仕事に2.5億円の予算計上

県は国が本体工事の予算を計上していないのに、負担金2億5600万円を予算計上したとのこと。「税の使い方としておかしい」と批判の声。議論の中で国が一日も早く“生活支援法”を成立させ経済支援を含めて、公共工事に振り回されてきた住民を支援すべきと語られました。



<環境政策>

三番瀬も危ない、生物多様性は消えそう

“三番瀬”“生物多様性”の課題について、吉川県議は「NPO、生物多様性を今回の総合計画の中で減らしてきた」「自然保護課の予算も2000万円近く減額、予算面でもその姿勢が見える」「森田知事は、第二湾岸道路を必要と言っている。三番瀬は開発される危険が増してきている」と指摘し、小宮県議からは「森田県政になりトーンダウン、生物多様性が少なくなり取組が落ちてきた」と、環境政策がかなり後退している状況が語られました。

<財政・その他>・・・問題山積み

2兆6000億円の借金、天下り、不正経理

一般会計1兆5000億円の予算の中「税収は6000億円で人件費が6000億円」「天下りの状況が十分つかみきれていない、そのあらわれが35億円の不正経理」と2兆6000億円の県債があ

る県財政の危機的状況が語られました。「県としての財政再建の方向性が示されていない」との批判も出されました。また、アクアライン800円の為15億円を支出(対岸の神奈川県は0円)する社会実験についても、その効果について分析されていない状況で、南房総地区への道路建設の為県道バイパス30億円、館山道50億円と予算付けされている点も語られました。

<住民自治>

県民不在、情報公開・県民参加なし

個々の事案について、今回、県政について語られましたが、県民不在・情報公開のなさ・県民との議論の無さが、際立った形で明らかになりました。森田知事の思いつきの公約実現だけの県政とは何なのか？

- *非公開・県民参加なしで北総運賃値下げ合意
- *アクアライン800円で15億円支出

今後さらに厳しい経済状況の中、どう県政を



市民の側に引き寄せ“市民の県政”にできるかが課題だと思われました。

市民の生活と本来直結しなければならないはずの県政の姿が全く市民の目に、耳に入っていないこの状況を変えなければと思われました。県政を市民の手に取り戻したいものです。



公開と第三者の目で事業仕分け

第三期の『自主講座(福島塾)市民自治』が始まりました。今回は“事業仕分け”についてです。国・行政刷新会議が行った事業仕分けに対しては、色々な意見がありました。はじめて国民の前に公開されたという点では、誰もがその意義を指摘しました。

福島さんは、事業仕分けの原則 ①すべての人に公開される ②「外部の目」を入れて仕分けする ③理念を議論するのではなく、その理念実現の為にその事業が必要か有効かを議論するもの。を示し徹底した公開と、外部の目がなければ、たとえ実施者が「事業仕分け」と言っても、それは事業仕分けではないと断定しました。



そして“行政の事業の見える化”“事業に対する行政の説明責任のハードルを高める”ことこそ事業仕分けの意義があると語りました。

更に、各自治体ではまだまだ事業仕分けが十分に行われていない中、千葉市、富士見市などでは傍聴者からの発言も認めるなど、更に進んだ＝市民が参加する事業仕分けが行われ始めている現状が示されました。

世界一幸福な国



・・・デンマークの福祉・教育とは・・・

「幸せですか？」

という問いに「はい」と答える人が世界で最も多い国デンマークの福祉は？教育は？

43年間デンマークで暮らす日欧文化交流学院長 千葉忠夫さんはデンマーク社会は、世界一幸福な国＝住みよい国＝生活大国＝福祉国家であり、すべての国民に幾重ものセイフティネットを生活を保証していると語りました。

医療費も教育費も障がい者支援の費用もすべて無料。“高福祉、高税”は高負担ではなく“連帯と共生”の累進課税と説明しました。

どうしてデンマークで出来ていることが、日本で出来ないのだろうか？千葉さんは「民主主義の教育を小さい時からきちんとしているデンマークと、競争原理の教育で人よりも上にと差別をつける教育をしている日本との違い」を示し日本の現状を批判しました。

デンマーク国民学校校長ローナ女史からは、先生一人に対して生徒 10.7 人の国民学校の様子が説明されました。

学校運営委員会には教師、親の代表だけでなく生徒も当然として代表がいるとのこと。“すべて精神的に自由で、人間として同等の価値観、民主主義に基礎をおく”



(国民教育法第一条)というデンマーク教育の基本姿勢が語られました。

ミドルファート市副市長ハンナ女史は、地方議会について語りました。女性議員が多いこと。各議員は職業を持っており職場が終わって午後5時から議会が開かれるとのこと。

鎌ヶ谷でも、一人一人を大切に“幸せ”な社会を自治の力で創っていきたくて

6月議会の子定

開会：5/27 ～閉会：6/11

代表質疑：6/1 常任委員会：6/2・3

一般質問：6/4・7・8・9

<主な議題>

- ★市職員は育児休暇を配偶者共々取ることができる(議案第4号)
- ★学校支援地域連携事業への補正予算 433 万円
- ★国民健康保険料賦課限度額の引き上げ

ふじしろ政夫の一般質問

6/8 15:15頃～

- I. 住民投票条例の必要性について
- II. 大柏川第二調整池について



お知らせ

※「どこまでできたか？貧困対策」

6/9：星陵会館 18:30～

※法律弁護士無料相談：要予約ふじしろまで

6/19 7/17 13:00～